

わくわく中国文化



—中国の世界遺産⑪—

Illustration by KOH_HSL(instagram)

中国の世界遺産⑪

甘粛省の略称は「甘」と「隴」です。甘粛省は中国の北西部に位置します。面積は42.58万km²です。中国国内では西は新疆ウイグル自治区、東は陝西省、南は四川省と青海省、北は寧夏回族自治区及び内モンゴル自治区に隣接します。国外はモンゴルにつながります。甘粛省の地形は細長い形をしており、複雑な構造になっています。地勢は南西から北東に傾いています。4つの気候帯を持っており、南から北まで見ると、亜熱帯モンスーン気候、温帯モンスーン気候、温帯大陸性半乾燥気候、高原気候に属します。常住人口は2465.48万人です（2023年末）。省都は蘭州市です。

甘粛省には世界遺産が7つあります。主に敦煌莫高窟とシルクロード長安・天山路回廊地帯の2件に分かれています。前回の続きとして今回は（4）嘉峪関、（5）玉門関、（6）鎖陽城遺跡、（7）懸泉置遺跡の4つについて紹介します。

シルクロード：長安-天山回廊の交易路網

この遺産は、漢・唐時代の中国の中心首都であった長安/洛陽から中央アジアのゼティス地域にわたる5000kmのシルクロードネットワークの一部です。紀元前2世紀から1世紀の間に形成され、16世紀まで使用されています。複数の文明を結びつけ、貿易や宗教信仰、科学知識、技術革新、文化風習、芸術などの活動における交流を促進しました。シルクロードは33の構成要素からなり、さまざまな帝国の首都や宮殿建築群、貿易集落、仏教の石窟、古代の道、宿場、関所、烽火台（のろしだい）、万里の長城の一部、要塞、陵墓、宗教建築物が含まれています。



甘粛 G A N S U

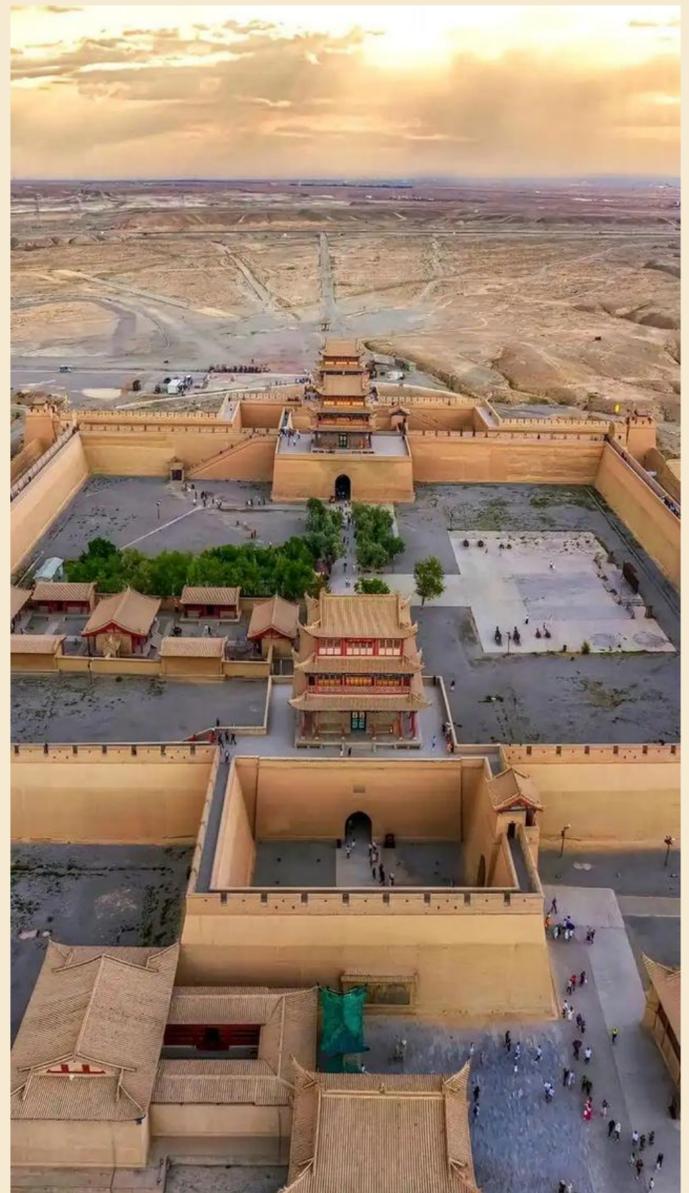
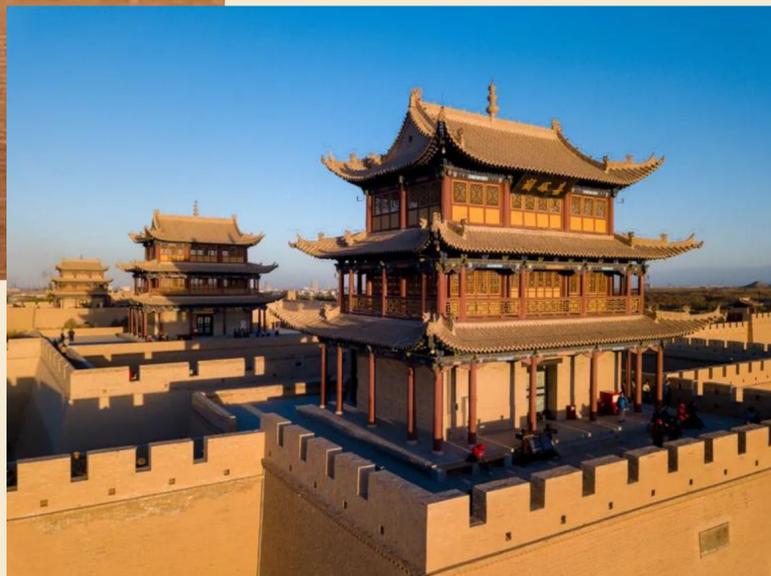
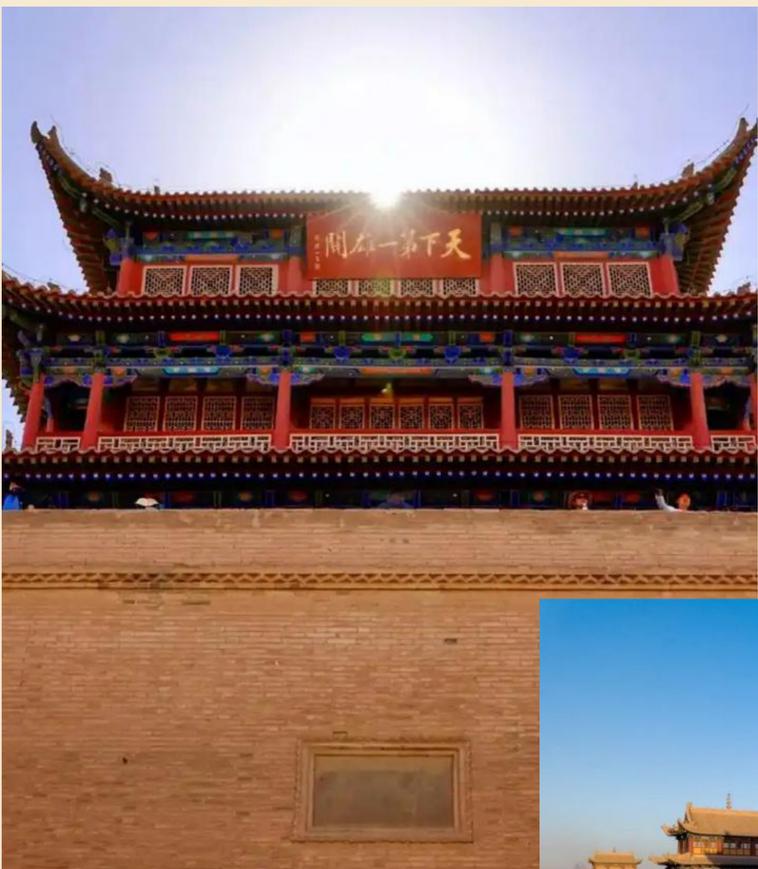
中国の世界遺産⑪

嘉峪関

甘肅省嘉峪関市に位置する万里の長城最西部に位置する関です。嘉峪関は周囲733メートルを高さ11メートルの城壁に囲まれ、内域は3.35万㎡以上です。黄土で固めた城壁の東西にそれぞれ楼閣と甕城（おうじょう）を持つ城門を備え、東を光化門、西を柔遠門といいます。嘉峪関の南北は万里の長城とつながり、城壁の隅角部には櫓が設けられています。嘉峪関はシルクロードの要衝の1つで、河西回廊にある嘉峪山の谷の最も狭い所にあり、「天下第一雄関」と讃えられています。

万里の長城の嘉峪関は、明の長城の西の起点として欠かせない存在です。「天下第一雄関」として威風堂々とそびえ立ち、気迫が満ちています。まるで時空を超え、戦争の衝撃的な光景を目の前で見ることができるかのようなようです。ゴビ砂漠と万里の長城はここで照り映え、壮麗な巻物が目の前に広がります。嘉峪関は明の洪武5年（1372年）に建設され始め、古代中国の軍事防衛工事の優れた例です。そして「長城精神」は中華民族の強靱な意志の不滅のシンボルでもあります。

2014年にシルクロード長安-天山回廊の交易路網の一部として世界文化遺産に登録されました。



甘肅 G A N S U

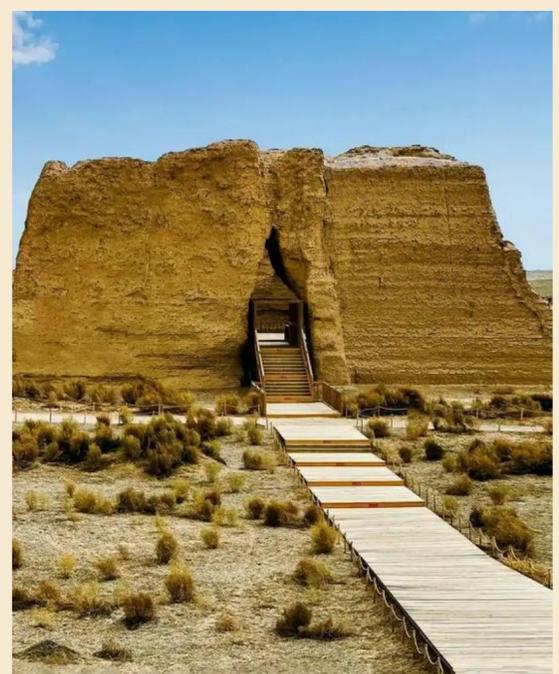
中国の世界遺産⑪

玉門関

「羌笛何ぞ須いん楊柳を怨むを。春光度らず玉門関」は唐の詩人である王之渙が書いた漢詩「涼州詞」から選び出した段落です。歴史の重みがある要衝である玉門関は、数え切れないほどの歴史的な記憶を持っています。玉門関はシルクロードの重要な関所であり、無数の文人墨客が書き残した辺境の風景であり、東西文化交流の重要な通路でもあります。玉門関は前漢時代に建設され、古代の貿易と文化交流において極めて重要な役割を果たしました。

玉門関は敦煌市の北西に位置します。現存する玉門関遺跡は漢代のもので、漢の時代には重要な軍事関所であり、シルクロードの重要な輸送ルートでもありました。

2014年にシルクロード長安-天山回廊の交易路網の一部として世界文化遺産に登録されました。



甘肅 G A N S U

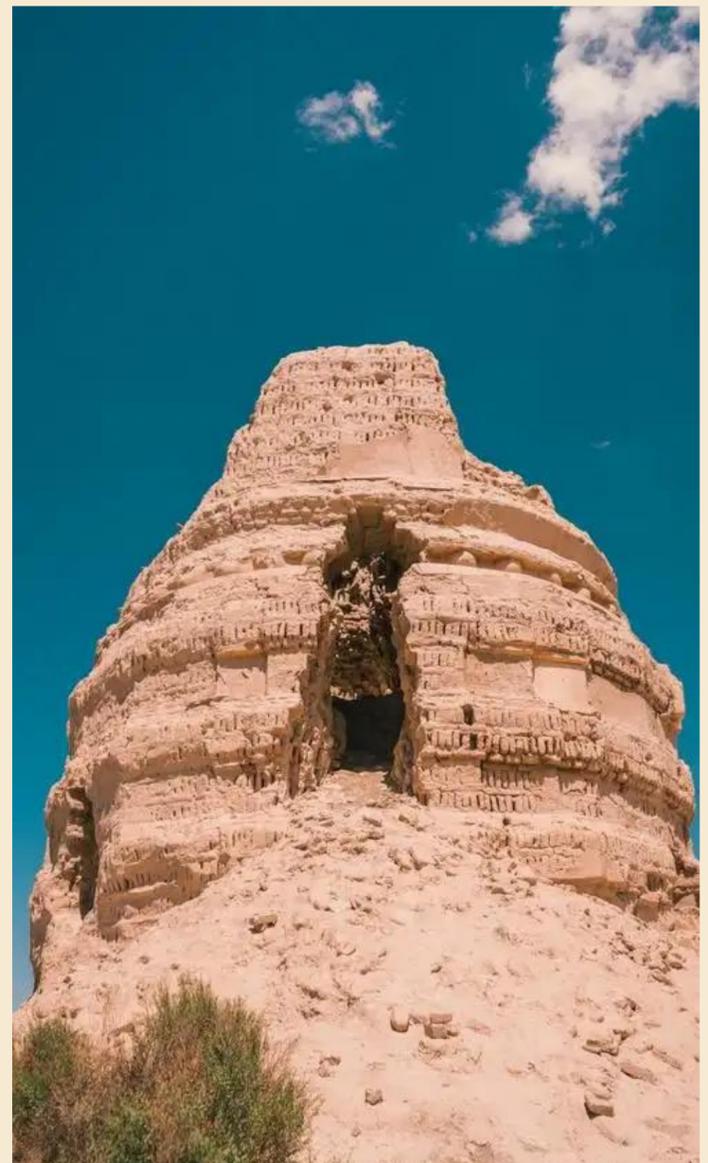
中国の世界遺産⑪

鎖陽城遺跡

崩れた垣や壁の間から、歴史の激しい転変が語られています。当時のラクダの鈴の音や交易の喧騒が今でもかすかに聞こえてくるようです。鎖陽城遺跡は甘粛省酒泉市瓜州県に位置します。紀元前111年に前漢の武帝によって敦煌郡の冥安県の政庁が設置されましたが、295年に西晋の恵帝によって現在地に移されました。鎖陽城は漢の時代に建造され、唐の時代に栄えました。最盛期の人口は5万人と推定され、1000年以上にわたり河西回廊の重要な行政・経済・文化の中心地でしたが、16世紀の明の時代に、モグーリスタン・ハン国の攻撃を受け、破壊されました。

古代には、鎖陽城は軍事要塞と交通の要衝として重要な役割を果たしました。古代のシルクロード上になんの障害もなく通じることを保障しました。鎖陽城遺跡は比較的良好な状態で保存された隋唐時代の古代都市遺跡であり、遺跡の中に中国で最も完全な状態で保存された古代軍事防衛システムと古代耕地灌漑システムがあります。

2014年にシルクロード長安-天山回廊の交易路網の一部として世界文化遺産に登録されました。



甘肅 G A N S U

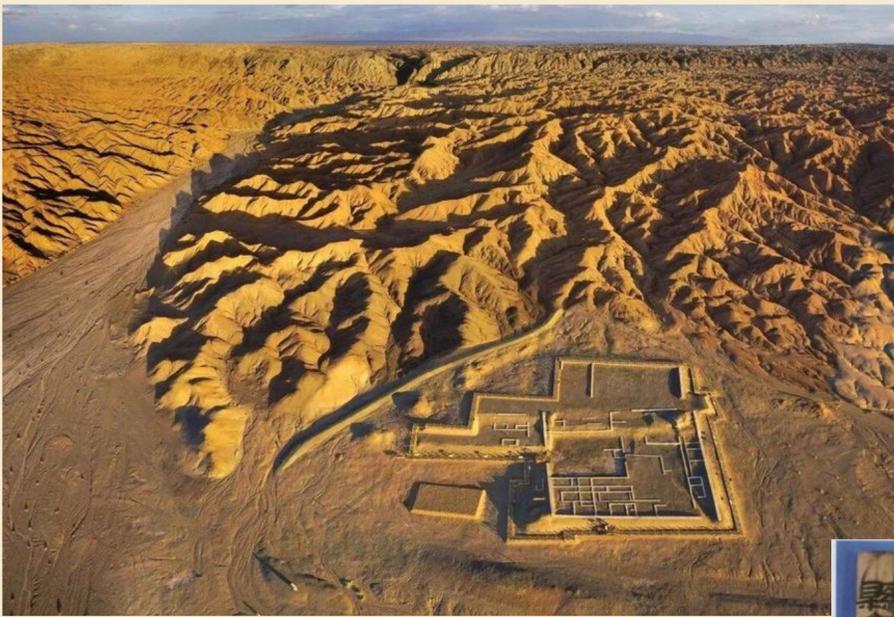
中国の世界遺産⑪

懸泉置（けんせんち）遺跡

かつては古代シルクロードの極めて重要な郵駅施設として、シルクロードの賑わいと繁栄を目撃した場所でした。懸泉置遺跡は敦煌市に位置します。前漢の武帝時代（紀元前111年）に建造され始め、30年間をかけて完成しました。遺跡の面積は2.25万㎡で、主体建築と灰区（漢簡などの文物を積む場所）と厩（うまや）と附属建築物からなっています。ここで発掘された文物は約7万件あります。簡牘（かんどく）35000枚あまりが発見され、そのうち有字簡牘23000枚あまりです。

懸泉置遺跡の発見を通じて漢の時代に既に郵便局システムが存在することが証明されました。歴史的、科学的、文化的価値が極めて高いです。懸泉置遺跡にある瓦礫の一枚一枚、石碑の一つ一つに歴史の痕跡が記録されており、その輝かしい歴史の断片を垣間見ることができます。そして漢簡の発見を通じて漢の時代における政治・経済・軍事・外交・交通・郵駅・民族・文化・風習などの研究に歴史的資料を提供しました。懸泉置遺跡にある漢簡の一枚一枚は遙か遠い時代の生活の息吹を当時の状態に戻し、歴史の謎を一つ一つ解くためのものです。

2014年にシルクロード長安-天山回廊の交易路網の一部として世界文化遺産に登録されました。



□敦煌
故宛可用



甘肅 G A N S U